



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.148 2012年4月26日 支部長 緒方智子

定例の支部会議を終えて帰宅してみたら庭のボタンの「満開」。思わず声を上げてしまいました。たった3日間しか家を空けていないのに季節は確実に変わっていていることを実感です。翌日はぼかぼか日和。陽気に誘われて田舎道を歩き始めたら、新緑が目鮮やかです。キンカンの黄色や木々の赤い実も目立ちます。例年は野鳥についばまれてこの時期にはほとんど見られなくなっているものが今年は「健在」です。喜んでいいのやら、野鳥の激減を憂うべきやら……。今年は4年前に全部倒れてしまったニホンミツバチが我が家にも戻ってきました。蜂の羽音を聞きながら庭の草とりができるレジャーをまた楽しめそうでうれしくなっています。

今回会報は以下のことを載せています。ご意見等いろいろお知らせください。

- 1 サーバス九州支部会議・志賀島フィールドワーク報告
- 2 サーバストラベラー受け入れ報告
- 3 会員情報
- 4 訪韓計画進捗状況
- 5 サーバス九州からのお願い4点

1. サーバス九州支部会議、志賀島フィールドワーク報告

概要は以下の通りです。

時：2012年4月21日(土) 14:00～22日(日) 13:30

所：福岡市東区志賀島 玄海国定公園「休暇村志賀島」

内容：4月21日 15:00～17:30 支部会議
21:00～23:00 懇親会(お部屋二次会)

4月22日 21:30～12:30 島内ツアー(ボランティアガイド付)

費用： 一人11,000円

参加者：23人+中学生1人
(内訳) 福岡：4、佐賀：4、長崎：7、大分：5、熊本：0、宮崎：4

担当：福岡地区会員

今回はいつも参加してくださっている方々に加え、昨年度入会してくださった、佐賀のHさん、Yさん、長崎のKさん、大分のMさんに加え、新入会希望として、福岡のYさん、Iさんがご参加くださいました。長崎の久志妙子さんもサーバスには初参加です。

2日間の会を仕切ってくださった福岡のお二人の会員の緻密な計画と配慮のおかげで、みなさん大変有意義な2日間をお楽しみいただいたようでうれしく思っております。お二人に心から感謝いたします。

支部会議申し合わせ事項・案内等

議案書に基づき報告・審議をいただき、決算書・予算書を決定していただきました。ご参加いただかなかったみなさまには議案書をファイル添付でお送りいたしますので、ご覧ください。

会議では次のような申し合わせが行われました。

①2012年度の夏例会

*今年度の夏例会は5月の「韓国との交流」で置き換え、サーバス九州全体としては夏例会は実施しない。

②2012年秋例会

*大分で行う。期日・場所については大分地区のメンバーで話し合って決定する。

③日本サーバス被災者支援プロジェクト推進

*被災者支援プロジェクトの一環である仮設住宅生活者の「小物づくり」の材料を送る。
*制作された物品の購入を積極的に進める。

*九州支部の訪韓の際、それをプレゼントとして活用する（英文で説明をつける）

④ホストリストの貸出について

*リストを借りるときは、送料100円程度まではサーバス事務局で負担するが、それ以上の金額になる場合は「着払い」で送り、送料を借りる人が負担する。（平等性）

*リストは必要箇所のコピーをとったら、すみやかに返却する。借りだしてから2週間以内とする。

*借りたリストを海外旅行に持ち出さない。

⑤2013支部会議について

*支部会議は当面、福岡に固定する。来年2013年は4月14日(日)とする。会場未定

*福岡県内の会員が支部会議と懇親会会場を確保し、ミニツアーは行わない。遠距離参加者のために宿泊場所の斡旋は行う。

⑥国内トラベリング

*海外からのトラベラーが少ないので、日本国内をサーバス旅行し、交流を深めることも考える。

⑦支部役員

*2010~2011年の役員メンバーで2012~2014を引き継ぐ

支部長：O.T.、副支部長：H.F.、会計担当：Y.K.、監査：M.Y.

⑧地区役員

*役割：①県内メンバーの連絡

②地区内加入希望者の面接も必要に応じて担当

福岡：T.R. 会員； 佐賀：N.M. 会員； 長崎：H.F. 会員；

大分：K.A. 会員； 熊本：K.Y. 会員； 宮崎：A.E. 会員

（熊本は参加者がありませんでしたので、ずっと担当いただいているKさんにご本人の承諾なしにお願いすることにしました。不都合があった場合は県内で調整いただければ幸いです）

⑨東アジア地区会議

*2013年11月中国広州で予定。参加を検討してみてくださいとのこと。（N東アジア地区コーディネーターより）

懇親会

恒例のお部屋二次会はN会員の進行で進められました。支部会議の中で、トラベラーの受け入れ方やトラベリングの仕方について初めての方から質問がでていましたので、二次会でそれぞれの体験を聞くことからはじまりました。

N会員が自身の経験として、サーバスで受け入れた方がオリンピックの馬術競技のコンパニオンをされている方だったが、その方がスウェーデンの馬術競技の選手だったスウェーデン王子と結婚され今王室の一員になられている話やアメリカのマーチンルーサーキング牧師の同級生がトラベラーとしてお見えになり、コレッタ夫人との結婚のいきさつなどを聞いた話を披露されるとそれぞれが自分が受け入れたユニークなトラベラーの話を披露。一同うなずいたり、びっくりしたり・・・。

会の途中では、これも恒例の宮崎の会員さんによるプレゼント付クイズ。

さてみなさんのお答は？

- Q1 「ドジョウ」は英語で何というのでしょうか。 a ラウチ b ロウチ c レウチ
Q2 「骨折」は英語で何というのでしょうか。 a フラクチャ b ブラクチャ c グラクチャ
Q3 「紙ふぶき」は英語で何というのでしょうか。 a カンフェティ b キンフェティ c コンフェティ

その後、Tさんの「果物クイズ」で盛り上がり、また、各自の体験報告が続きました。

佐賀のSさん、Hさん、Yさんは昨秋3人で旅行されたのですが、その準備過程を含めて旅報告をされたYさんのエピソードの数々にみなさん大笑い。Yさんの最後の締めは「こういうのはバック旅行では絶対に味わえないし、サーバス旅行だから体験できたことでした。また、それを味わいたくて今年も出かけます」とのこと。また、報告を聞くのが楽しみです。

サーバス体験参加のIさんは「こんなにあったかい会いははじめて。参加させてもらってよかった」と感想を。Yさんは籤運が強くいろいろな商品があたる体験を披露、そして、「迷子になって会議に遅刻してしまったので、面接で入会を断られるのではないかと不安」とジョーク。

大分のM和尚さんは「施し」についてのお話、宿坊もまた整えられるそうです。国東のボランティアガイドの会長さん。副会長さんのいずれもがサーバスメンバーです。ぜひ、国東へ。国東トレッキングのパンフも上等のができています。

志賀の島フィールドワーク

前日の雨でフィールドワークは中止を余儀なくされていましたが、よほど会員の日頃の行いがいいのでしょうか、朝食が終わるころには雨も止み、予定通り「催行」。ボランティアガイドさん二人のお世話で「金印の島」のフィールドワークをそれぞれの車に分乗して行いました。その昔、社会科の授業で習った「単語」を思い出しながら歴史探訪を楽しみました。

帰りはみんなでお昼の会席料理に舌鼓を打ち、お互いの労をねぎらいながら、再会を約束してそれぞれの家路に向かいました。

楽しい有意義な1泊2日の旅でした。体験参加の福岡のお二人もサーバスに入ってくださいることになりました。福岡のコーディネーターのT会員が個別に詳しい説明をしてくださる予定です。

荷物を送りました！

日本サーバス被災者支援プロジェクトへの呼びかけに答えるために事前にメールで布・毛糸・タオル等の小物づくり用材料の提供をお願いしていましたので、みなさんがそれらの品々を寄せてくださいました。

会議終了後、段ボール2箱にぎっしり詰めてピースセクレタリの津村さん宛に荷物を送りました。ご協力、ありがとうございました！

支部会議に参加されなかった会員からは、家に布や毛糸があるので、直接送りたい旨の連絡もつけています。ありがとうございます！

2. サーバス受け入れ報告

大分・K 会員、福岡・Ta 会員、大分・Mu 会員から、サーバス受け入れ報告をいただいていたので、紹介します。（掲載が遅くなりお詫び致します）

報告 1

（大分 K 会員）

2007年の暮れも押し迫った時期に、フィンランドから、お父さんと2人の姉妹がHSしました。3日間といっても、次の場所への移動があり、実質2日間ぐらいの時間を一緒に過ごし、あわただしく次の場所に旅立っていきました。

姉妹の名前は、高校3年生のSと中学生のMでした。帰るとき、姉のSは日本語を勉強してきつと又来ます、とっていました。そうなんだ、本当ならうれしいなと思いつつ、あつという間に3年の月日が流れ、2010年の夏の初めでした。

フィンランドからSです。覚えていますか？とのメールが入りました。

見ればすばらしい日本語で！！あのときの約束を果たし、その成果を日本語のメールで思ったら、なんだか胸がきゅんとなってしまいました。

内容は、ボーイフレンドができました。その彼と又三重町に行きたいけれどいいですか？との内容でした。即効でOKを出し、その夏にBF付きの楽しい時間をすごしたのでした。

そして去年12月10日のことでした。、またまたSからのメールです。

お母さん、又日本に行きます。今回は、大学の友達と10人で1ヶ月間日本に滞在です。大学の漫画クラブの友人たちと一緒にですが、最初の1週間は九州に当てて、Mie町に行きたいのですが、都合はいかがでしょうかとのことでした。

主人は、こんな片田舎のどこが良くて3回も来るのかと不思議がっていましたが、正直私も何でかなと思いはしましたが、理由はどうであれ、1週間は九州に来るために計画してるということです、来たいという気持ちを素直にうれしく思い、又即OKを出したのでした。

3回目ともなれば、何の心配も要らず、この片田舎に、約束どおり、到着でした。

寒いときではあるし、今回は何がしたいかと聞けば、長湯温泉に行きたいとのこと。

温泉大好きな彼女で、4日間のうち、2回も長湯に行っていました。

一緒におもちつきを楽しんだり、温泉も堪能できたしと聞いてたら、あろうことか、親類に不幸ができ、主人ともども家を空ける羽目になったのですが、Sを1人おくわけにも行かず、聞けば、ぜひ日本のお葬式を経験したいというので、通夜、告別式に同行したのでした。

彼女にとっても人生で、たぶん最初で最後の出来事ではないでしょうか。金髪の背の高い女性が、日本人の中に入って、お焼香をしましたが、皆びっくり仰天でした。皆様も、その模様をご想像いただきたいと思います。

いろんな経験をしながら、彼女は東京に旅立っていきました。3週間は東京で過ごし、その後、フィンランドに無事帰宅とのメールが届きました。

4回目の訪問ですか？

120%ありでしょうね。又の連絡を楽しみに待つことにしましょう。

報告 2

（福岡 Ta 会員）

2011年は久しぶりに複数のゲストをお迎えすることができた年でした。

新年を迎えて間もない頃、南フランス、ベルジュラックに住んでいる Maさんからメールが届きます。

初めての日本訪問で九州に1週間滞在予定とのこと、リクエストいただいた日は私自身がヨーロッパに出かけていて不在、日程をずらしてもらえそうなら大歓迎と連絡を入れると日程調整をするので会いたいとのこと。

私自身がちょうど1月末からドイツ、ベルリンの食品見本市を訪ねた後、パリを経由しての帰国予定を伝えると「それではパリで会いましょう」ということになりました。

メールでのやりとりのテンポのよさから年齢差を感じない方でしたがお会いすると母の年齢に近いマダムでした。

パリのカフェでの初対面での印象は素敵に年を重ねたフランス人マダムでおしゃれな雰囲気を出していらしてそのことを伝えると「ありがとう、でも日本で会うときはエレガンスはお預けよ」とおちゃめに笑っていました。

もともとは北ドイツ出身のドイツ人。ドイツの大学を卒業し、ドイツの高校で英語とフランス語を教えていたそうですが30歳くらいの時に他の国で生活してみたいとフランスで仕事を探したそうです。すでにフランスでの生活年数の方が長いそうでパリやリヨンの大学でフランス語を教え現在はリタイアしてフランス南西地域のベルジュラックで暮らしています。

アジアの他の国々はこれまで何度も訪ねているそうですが日本はご縁がなく今回が初めてとのこと。

旅慣れているとはいえ言葉もままならない見知らぬ国に70歳を過ぎていきなり4週間のひとり旅とはチャレンジャーです。

パリで半日ご一緒させていただき「では日本で」と別れました。

我が家にきていただいたのはその10日くらい後です。私は自宅でワインとお料理を囲みながら交流を楽しんでいただく教室を開いているのですがちょうど開催日に重なったので小倉駅にお迎えに行き参加していただきました。滞在中はあいにくのお天気でどこにもお連れできませんでしたが日本滞在中のスケジュール調整と休養ができていい、とかなり長い時間家でおしゃべりをしていました。

海外からのゲストをお迎えするときもまた自分自身がトラベラーで出かけていくときもサーバスを通してご縁をいただく方々とは不思議に以前からのお知り合いのように話が弾む方が多く時間を共有できる楽しさがあります。

印象的だったのは「ふだん街中で不都合があったときに文句を言っている人をみかけるともっと旅をなささい、って思うのよ、旅に出ると不便だったり困ることもたくさんあるでしょ、世の中いろんな人、ことがあるんだなあってことがよくわかるから」旅から快適なことだけではなく時として不快なこと、不便なことからも学び味わい楽しんでいらっしやるんだなあ、と感動しました。

Maさん滞在から1週間後、ドイツ・ベルリンからもうひとりのゲスト、Zeさんの訪問がありました。

彼女とは1月に私がベルリンの友人を訪ねた際に紹介されました。私の友人も3月に来日予定がありホストリストを借りようと問い合わせたら先客がいてその人に連絡を入れておしゃべりするうちに私の話になったそうで「うちで一緒に御飯を食べながら情報交換しよう」と招待してくれたのです。

なんと彼女は「北九州」という街の名前を知っていました。それも「公害を克服して今は環境都市としてがんばっているのよね」と言われびっくり。「どうしてそんなことを知っているの?」と伺うと、長年コンサートマネージャーとして世界中を演奏旅行するアーティストに同行して日本にも仕事オンリー観光なしの来日経験が7回、「北九州には20年くらい前にロリンマゼールと行き市庁舎で歓迎してもらい、そのときに街の歴史の映像をみました」とのこと。20年前では私はまだ北九州では暮らしていませんでしたがなんとあの世界的な指揮者が小倉で演奏会を行っていたとは!そちらもほうに驚いてしまいました。

Ze・・・、なんてドイツでは聞き慣れない名前なので出身を尋ねると「祖母の一人がドイツ人、でも私が生まれたのはアルゼンチンなの。」彼女のおじいさんおばあさんの出身国がみんなちがいで母方はスウェーデンとドイツ、父方はフランスとロシア、そしてご両親がアルゼンチンに移住して彼女はそこで生まれ中学から大学までニューヨーク、成人後ドイツ、ミュンヘンでコンサートマネージャーとして仕事を続けてきたそうです。30年以上ドイツに住みながらも国籍はアメリカ。いろんな場所で生活してきた人らしく順応性が高く、好奇心旺盛、おしゃべりがとても楽しい方でした。

日本を4週間かけてのひとり旅、北は北海道から鹿児島まで寒い季節にもかかわらず大いに楽しまれたようでした。

到着翌日に私が毎週参加しているヨガクラスがあったので一緒にエントリーしていただくと「以前参加したヨガよりリラックスができたのですが流派はなんですか」とヨガの先生に質問してベルリンでも始めてみたいと話していました。また公民館に貼ってあった植物園のポスターをみて「ここにいてみたい」と積極的です。

車で30分、前々から存在は知っていたものの行った事がなかったのでよい機会となりました。北九州市立白野江植物園、入園料200円ですが外国人は無料だそうです。

とにかく好奇心旺盛で反応が良い方でした。夕食に「はっさく」をだすと柑橘類が好きでスペイン、アンダルシアを訪ねた時のオレンジ園の話になったり、車での移動中、日本のアスファルトは振動がすくない気がする、などなど思いも掛けない視点でのおしゃべりを楽しませていただきました。

まったくゲストがない年もある中2011年2月は2週続けての受け入れとなり我が家にいながら日常生活にちがった視点を感じさせてもらえまるで旅をしているときのような楽しさがありました。3月にもドイツ・ベルリンから友人（2005年から継続的に交流があるサーバスを通して仲良くなった女性）が来日がありましたがまたの機会に報告させていただきたいと思います。

報告 3

(大分 Mu 会員)

サーバストラベラー 受け入れの報告申し上げます。

オランダからの旅行者 Ph (Home country is Japan) さんが 1月 5/6/7 日 2泊3日で訪問 されました。

大分の矢野さん宅でステイされていて ホストリストを見て☎でコンタクトを取ってきました。ガーデニングに興味があり 花育ての話やバラの手入れを手伝って頂いたり 国に帰ったら頑張って庭の手入れをすると とても喜んで帰られました。

3. 会員情報

- 1 サーバス九州現況：会員数 57 (家族)
＜内訳 大分 15、熊本 6、佐賀 4、長崎 7、福岡 12、宮崎 13＞
- 2 新入会者：
Y.K.さん：福岡市南区
LJさん：太宰府市
- 3 退会：鹿児島県 H.Y 子さん (3月 15日受付でしたので、今年度のホストリストには名前が記載されています。長い間ありがとうございました。)
- 4 休会：大分県 M.M さん

4. 訪韓計画進捗状況

訪韓予定日 2012年 5月 24日(木) ～27日(日)

- 1 利用便の都合で日程が少し変更になりました。復路に予定していたカメラ号が定期検査でドック入り。運休予定になったための変更です。往復とも高速船を利用します。
- 2 参加予定者は 20 人です。
- 3 乗船券往復・ホテル・EXPO前売り券・バス予約は済んでいます。現在の検討課題は参加人数が 20 人になり、小型バスでは少々窮屈ではないか、バスを大きい方に替えてはどうかということです。現地と相談していこうと思います。
- 4 日本サーバス被災者支援プロジェクトが支援しているグループ作成の小物が届きました。ポケットティッシュケースや布コースターなどきれいな布でつくられ、とてもかわいいです。仮設住宅のたまり場でこれらの小物を手作りしながら支え合って生きていかれている被災者の思いが伝えられたらと思います。交流会の際、スモールプレゼントとして差し上げるものです。
- 5 「訪韓のしおり」を作成しました。支部会議ご参加の方にはお渡しましたが、参加されなかった方にはホストリストと一緒にお届けします。
- 6 訪韓プロジェクトにご参加のみなさま、5月 24日 午前 9時に博多国際港ターミナルでお会いしましょう！(乗り場を間違えないでくださいね。釜山・ビートルがキーワードです)

8時30分から受付開始です。到着次第、緒方を探してパスポートをお預けください。まとめて手続きを行います。

5. サーバス九州からのお願い 4点

1. 新年と同時にサーバスの会計年度も新しくなっています。
2012年度の会費（年会費 3000 円）の納入がまだの方はどうぞよろしくお願いたします。（1月末をお願いしておりましたがまだの方はなるべくはやくご都合をつけてお送りください。まだの方にはホストリストにメモを添え、振込用紙も同封します。よろしくお願いたします）
2. ホストリストをお届けします。個人情報満載ですので、取り扱いには十分ご注意ください。
古いホストリストの処分もよろしくお願いたします。
3. 日本サーバスのホームページをご覧ください。
宮崎のN会員がIT委員長で、ホームページの掲示板の管理をされています。ぜひ、訪問し、書き込みもお願いします。緒方のアドレス等を書いているところにヒントを書いておきます。
4. 日本サーバスの海外のホストリスト情報のページが作り替えられています。ぜひ、そちらをご覧ください。電子版のホストリストを出している国も直接トラベラーに貸し出すことを「禁止している国」がかなりあります。必要なページをプリントアウトして、必ず紙の形で貸し出すようになっています。ホストリストは本部から一般会員への直接貸し出しはされていません。支部長を通しての貸し出しです。余裕をもって申し込んでください。

サーバス九州への振り込み

郵貯口座のない方は郵便局で振替用紙をもらい以下のように書いてお送りいただければ幸いです。

（この場合は手数料が若干かかります。よろしくお願いたします）

口座記号				口座番号 (右詰で記入)					千	百	十	万	千	百	十	円							
*	0	1	9	5	0	=	6	=	*	3	6	4	4	1	金額	*				3	0	0	0
加入者名	サーバス九州事務局										料金		備考										
通信	.																						